

『日本史入試問題必勝法』

机に向かって、問題を出している家庭教師と生徒。生徒は先生の言ったことをノートに書いたりしている。

先生 701年。

生徒 刀狩令。

先生 ブー！大宝律令。

生徒 惜しい！令の字は合ってたのになあ。

先生 惜しくねえ！刀狩令は1588年。行ったのは、豊臣秀吉。時代が全然違うんだよ。

生徒 ねえ先生。刀狩令って、ガリレオ・ガリレイみたいじゃねえ？

先生 馬鹿なこと言ってるねえで。ほら、次行くぞ。

生徒 はい。

先生 710年。

生徒 納豆食べつつ平安京。

先生 なんと見事な平城京。

生徒 あー違ったか。

先生 ちなみに平安京は794年だからな。

生徒 あー、泣いていないで、キュートな笑顔を見せてごらん、よ、平安京？

先生 なんて、わざわざそんな面倒くさい覚え方すんだよ。鳴くよ、うぐいす平安京だろ。

生徒 あそつか。

先生 718年。

生徒 718年・・・718年？

先生 ブー！答え、養老律令。覚えとけよ。大宝律令と養老律令は、間違えやすい上によく出るからな。

生徒 これって、あの右大臣とか左大臣とか、右近衛の大将とか左近衛の大将とかってやつ？

先生 そうだよ。ていうか、何で右近衛の大将とか左近衛の大将とか言えるくせに、なんと見事な平城京が覚えられねえんだよ。

生徒 右近衛の大将、テストに出るかなあとって。

先生 出ねえよ。お前テキストにも程があるぞ。まあいいや、次。723年。

生徒 三世一身法。

先生 おっ正解！よく覚えてたなあ。

生徒 なんか、かつこよくない？三世一身法。なんか、三位一体みたいで。

先生 全然違うぞ。三位一体と三世一身法は。

三世一身法は養老七年の格とも言つて、新しく溝や池を作つて田畑を開墾した者には、

三世代に渡つてその土地を所有することを認める、または元々あつた溝や池を使つて開墾した場合には、

本人一代限りの所有を認めるといふものだ。その後に来たのが、天平十五年の格とも呼ばれる墾田永年私財法だ。

生徒 出た！墾田永年私財法！

先生 なんだよ、その出たつてのは。

生徒 なんか、かつこよくね？墾田永年私財法つて。

先生 お前そんなのばつかだな。

生徒 (ふくれつつら)

先生 じゃあさ、じゃあさ、お前こんなの好きだろ？

生徒 なになになに

先生 王政復古の大号令

生徒 大好き！

先生 でも、次のテストには出ねえからな。

生徒 なんだー、出ないのかあ。でも、書いとこ。

先生 お前のノートは読みにくいなあ。もうちよつとまとめろよな。

生徒 よし！書けた。

先生 じゃあ次。601年。

生徒 え！？さつき723年とかだったのに？100年も戻るの。

先生 ここも範囲なんだぞ。覚えてないでどうする。

生徒 えー601年とか覚えてねえよ。

先生 ヒント、中大兄皇子、中臣鎌足。

生徒 もう無理。ギブアップ！

先生 お前はほんとに・・・

生徒 ねえ先生、いつものあれやろうよ。

先生

えー休憩にはまだ早いだろ。

生徒

いいじゃん。(ノートを見ながら) ほら、こんなにあるし。

先生

言っとくけどな、これぜんぜん暗記になってねえからな。

生徒

わかってるよ。息抜きだよ、息抜き。

先生

しようがねえなあ、ちよつとだぞ。

生徒

うん。

先生

はい、いきまーす (ADみたい) 3・2・1、はい！

生徒

(急に泣き崩れる、キャラが女に変わる) うっうっうっ・・・

先生

(好青年っぽく) どうした、何を泣いてるんだいうぐいすちゃん。

生徒

(生徒を見て) あなたは、中大兄皇子さま。

先生

止してくれ。俺は、今はもう中大兄皇子なんかじゃない。ただのカレーの王子さ。

生徒

それで、なんで泣いているんだい。俺でよかったら、話してくれないか、うぐいすちゃん。

先生

はい、ありがとうございます。実は、強力な軍隊を率いて、

生徒

この国を支配せんと企むへーアン卿の奴らがわたくしたちの大事な米を・・・ああ・・・うっうっうっ・・・

先生

それはひどい。

生徒

だからもう泣くしかないのです。泣くよ、うぐいす。

先生

へーアン卿(こぶしを握り締め) もう、黙ってはおれない。俺は、俺は、へーアン卿を倒す。

生徒

皇子様！

先生

(くるりと向きを変える)

生徒

(生徒が向いた方向へ移動し、キャラが老人に変わる) 中大兄皇子様！

先生

言っただろう右近衛の大将。俺はもう、中大兄皇子なんかじゃない。ただのカレーの王子だ。

生徒

私とて、もうすでに右近衛の大将ではございませぬ。ただのターメリックでございます。

先生

お前、かつこよくなつてないか？

生徒

いいえ、屈辱の極みでございます。さりとて、中大兄皇子様が味わわれた屈辱に比べたら、

先生

私の屈辱など大したことではございませぬ。

生徒

俺は、もうこの状況を黙って見過ごすわけにはいかない。へーアン卿を倒す。(くるりと向きを変え、その場で歩く)

先生

へーアン卿。あの男の本当の名は、タイカ・ル・キニアス・へーアン。私とともに皇子に仕えていた男です。

生徒

へーアン卿、いやタイカは実に頭の切れる男でした。そして、武力に長けた男でもありました。

先生

その知と武を使い、ある時タイカは我々を裏切り、新たな政治中枢を作り上げたのです。王家は、一気に力を失っていきました。

生徒 タイカ！（立ち止まり）

先生 （生徒の向いている方向へ移動し、キャラが悪役が変わる）はっはっは！よく来たな、カレーの王子さま。

（生徒の向いている方向の逆の方向へ移動し、キャラが老人が変わる）もう、やめるんじや、タイカ。

（移動して、キャラが悪人に）お前は、右近衛の大将殿ではないか。いや、違ったか。今はターメリックだったか。右近衛だから、ターメリックか。なかなか面白い。そうそう、私も今では、へーアン卿と呼ばれていてね。

ちなみにへーアン卿の卿はトップハムハット卿の卿という字だ。書けといわれても、なかなか書けない字だ。だから、君達もへーアン卿と呼んでくれたまえ。

生徒 タイカ！今すぐこんなことは止めるんだ。

先生 昔の名で呼ぶな！この私に楯突く者は、たとえ王子であっても容赦はしない！

生徒 望むところだ！

先生 ならば、私から行くぞ。（指で九字を切りながら）臨・兵・闘・者・皆・大・宝・律・令！ハアツ！

生徒 養・老・律・令！

先生 くっ！私の術をはねのけるとは、なかなかやるな！しかし、これならどうだ！刀狩令！シャキーン！

生徒 （盾を構える仕草、しかし吹っ飛ばされる）うわあ！ちくしょう、俺のこのガリレオ・ガリレイが効かないなんて。

先生 （方向を変え、キャラが老人が変わる）皇子様！これを。

生徒 （先生を見て）これは・・・

先生 このときのために、私が開発いたしました武器、サンゼイッシン砲でございます。

生徒 右近衛の大将。ありがとう。タイカ！（向き直って）

先生 （方向を変え、キャラが悪人に）ほう、大砲か。だが、果たしてそんなチンケなものが私に効くかな。

生徒 食らえ！サンゼイッシン砲！バキューン！

先生 はっはっはっ、痛くも痒くも無いわ。

生徒 そんな！

先生 終わりのようだな。

生徒 くっ！ここまでか。

先生 （方向を変え、キャラを女に変える。手を組み祈っている）中大兄皇子様・・・

生徒 感じる！うぐいすちゃんの祈りが。パワーが体中にみなぎってくる！うおおおおお！

先生 （方向を変え、キャラが悪役に変える）な、何！？

生徒 すごい！うぐいすちゃんの祈りの力で、武器がパワーアップしている。

先生 おのれ！なめたまねを！

生徒 今度はこっちの番さ。食らえ！コンデンエーネンシザイ砲！ドガン！

先生 ぐあああああ！

生徒 やった！やったぞ！

先生 (土下座)皇子。参りました。政権はあなたにお返しいたします。

(方向を変え、キャラを老人に)ついに政権が、皇子様のもとに。王政復古の大号令じゃー！

(方向を変え、キャラをタイカに、再び土下座)私は、心を入れ替え、あなたに一生尽くします。

生徒 改心した、タイカが改心したぞ！タイカの改心だー！

(元の生徒に戻って)あつ！思い出した！601年は、大化の改新だ！

先生 (元の先生に戻って)その通り！

生徒 なあ、やっぱりこれって、日本史の勉強になるな！

先生 ならねえよ！

著作 淀川 奈緒美

人物名・呼称・制度等の時代考証は2007年時点のものです。

本作品に関するお問い合わせ、上演等での使用については

劇団演陣ホームページ (<http://www.gekidanenin.net/>) に掲載のメールアドレスにご連絡ください。